

2025年1月10日

各位

株式会社三井住友銀行

SMBCCNにて中和農信農業集団有限公司初の合同信託（ソーシャル）を支援

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO:福留 朗裕、以下「三井住友銀行」)の中国現地法人である三井住友銀行(中国)有限公司(社長:横畑 大、以下「SMBCCN」)は、お客さまのESG/SDGs事業を支援するにあたり、ソーシャルファイナンスアドバイザーとして中和農信農業集団有限公司(代表取締役社長:劉冬文、以下「中和農信」)の中国市場における初のソーシャルをテーマにした合同信託の設立を支援しました。

ソーシャルファイナンスとは、資金使途や主要な返済原資を制限し、社会問題の解決、資源配分の最適化、人々の生活と福祉の向上に関する分野への投資を促すことで、社会的に良い影響を与えるプロジェクトの実施や、より良い社会の構築を強力に支援する革新的なファイナンス方法です。

本合同信託は、ソーシャルボンド原則(※1)を参照し、外部評価機関である連合赤道環境評価株式会社(※2)からセカンド・パーティー・オピニオン(SPO)を取得した上で発行するものです。プールされた資産は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、特に女性の金融可用性に焦点を当て、ファイナンスの届きにくい低開発地域や遠隔地の農家や零細企業を確りと支援します。本件は、ソーシャルファイナンスの分野における中和農信の新たな挑戦の成功例です。

中和農信は、「農村暮らしをより良くする」という企業ビジョンを堅持し、農村市場に根差して中国の農村地域の小規模農家や小規模・零細企業経営者へサービスを提供することに尽力しています。この合同信託の成立は、中和農信が積極的に社会的責任を果たし、持続可能な経済活動を実践していることが市場から高く評価されたものであり、また、持続可能な開発と社会的責任を推進するお客さまとSMBCCNの実践的な行動を示しています。

三井住友銀行及びSMBCCNは、今後もお客さまのサステナブル経営のニーズにお応えし、さまざまな課題への解決策をご提供することで持続可能な社会及び市場の形成に積極的に貢献してまいります。

※1: ソーシャルボンド原則

International Capital Market Association (ICMA) が公表するソーシャルボンドに対する国際的な指針です。ICMA は、世界 60 か国以上の金融機関、法律事務所等を中心とした約 550 の会員から成る会員協会。持続可能な経済の成長と発展に必要な安定的な資金提供が行われるよう、国際債券市場の健全性を保ち、機能的な、世界を一貫できるクロスボーダー債券市場を促進することを目的として 1968 年に欧州にて設立されました。

※2: 連合赤道環境評価株式会社

2015 年に設立され、中国最大の信用情報サービス機関の 1 つである連合信用管理株式会社の持株子会社であり、主にグリーンボンドの第三者評価と認証、グリーンファイナンスコンサルティング、環境保護コンサルティングに従事しています。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

サステナブルソリューション部

TEL : 03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。